

十小くるプレ【立川市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	238日／年間	
参加人数	43人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型 ○	プログラム活動型
学習活動の特徴	自主学習 ○	学習プログラム
学童クラブとの連携	連携型（校内交流型を除く）	

■主な活動場所

専用教室・校庭・体育館

■開催日

平日(月～金曜) ※土日祝日、年末年始は休み

■参加対象

立川市立第十小学校区域に居住する小学生

■申込み手続き

保護者が実施教室に来訪し登録票により申込み

活動紹介

十小くるプレは、令和5年4月より民間事業者委託によりスタートした。

平日は下校時より午後5時15分まで(10月～2月は午後4時30分まで)、3季休業中の平日は、午前9時から開催。子どもたちが自主的に安全に遊べる居場所を提供し、見守りを行っている。

また、これまで地域主体で実施してきた放課後子ども教室「十小けやきクラブ」の流れを汲み、定期的に地域交流デー「けやきの日」を開催。体育館では、バトミントンやギター教室、囲碁・将棋、工作、オペレッタ、また、校庭では、サッカーや一輪車等地域の特色を活かしたバラエティ豊富な遊びの場を提供している。また、「七夕」・「水遊び」・「焼き芋」など季節感のあるイベントを地域の方と委託事業者が協力して実施している。

さらに、学童保育所に在籍の児童が「けやきの日」のイベントに参加できる体制を整えることで、放課後子ども教室くるプレと学童保育所の連携にも力を入れている。



オペレッタ



水遊び

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 競争入札により委託事業者を決定。これまで放課後子ども教室を運営してきた地域団体にも協力を依頼。

■配置人数 [見守り]6名／委託事業者 [コーディネーター]3名／委託事業者1名、地域2名

■運営体制 委託事業者の責任者が中心となり、イベント企画や学校・地域との調整を行っている。責任者会議(月1回／市・事業者)やスタッフ連絡会(年2回／市・学校・地域・事業者)も実施。

立川市の取組

■全教室数 18教室

■事業目的 子どもたちを心豊かで健やかに育むため、放課後、週末等に小学校の教室などを活用して、安全・安心な環境づくりを行う。

■事業の成果等

令和4年度より民間事業者委託による放課後子ども教室を順次展開。事業委託により地域の負担を少なくしつつ、安定した放課後子ども教室の実施を図る。定期的に「地域交流デー」を実施することにより、これまでの地域とのつながりやふれあいを継続していく。